

体験型見学会

催行日：8月21日（月）

申し込み締め切り：7月21日（金）

募集定員：早朝が苦手な方、遠方の方など、それぞれのご都合を考慮して、体験を組み合わせる方式としております。体験内容によって定員が異なるため、全体としての定員を45名に設定していますが、体験ごとでの定員に到達次第、締め切り前でも募集を打ち切ります。

参加費：昼食費として800円を予定（昼食が不要な方は無料です）

体験見学先と定員

体験見学先	内容	定員	施設のホームページ
若狭美浜はあとふる体験	早朝の大敷網体験	30名	http://www.heartful-mihama.com/
きいばす	プログラム体験	45名	http://www.mihama-eee.jp/
三方五胡レインボーライン	視察		http://www.mikatagoko.com/
若狭三方縄文博物館	視察		https://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/jomon/

注. 天候によっては早朝の大敷網体験が中止となる場合があります。また、天候、道路状況によっては、その他の見学先の行程も変更する場合がありますのでご了承ください。

体験前日（8月20日）の宿泊

- ・若狭美浜はあとふる体験（早朝の大敷網）を選択された方：

出発港に近い**丹生地区に宿泊する必要があります**。はあとふる体験を申し込みをいただくと、全国大会実行委員会事務局から丹生観光協会（<http://www1.kl.mmnet-ai.ne.jp/~nyu/stay.html>）に連絡し、宿泊先の選定を依頼します。なお、宿泊先の指定は原則できません。また、相部屋となる場合があります。ご理解をよろしくお願いいたします。

なお、通常であれば夏期は適用外の、次に示す「はあとふる体験用統一料金」（自費）で宿泊できることとなっています。

宿泊区分：1泊2食

料金(税込み)：高校生以上8,200円 中学生7,560円 小学生6,900円

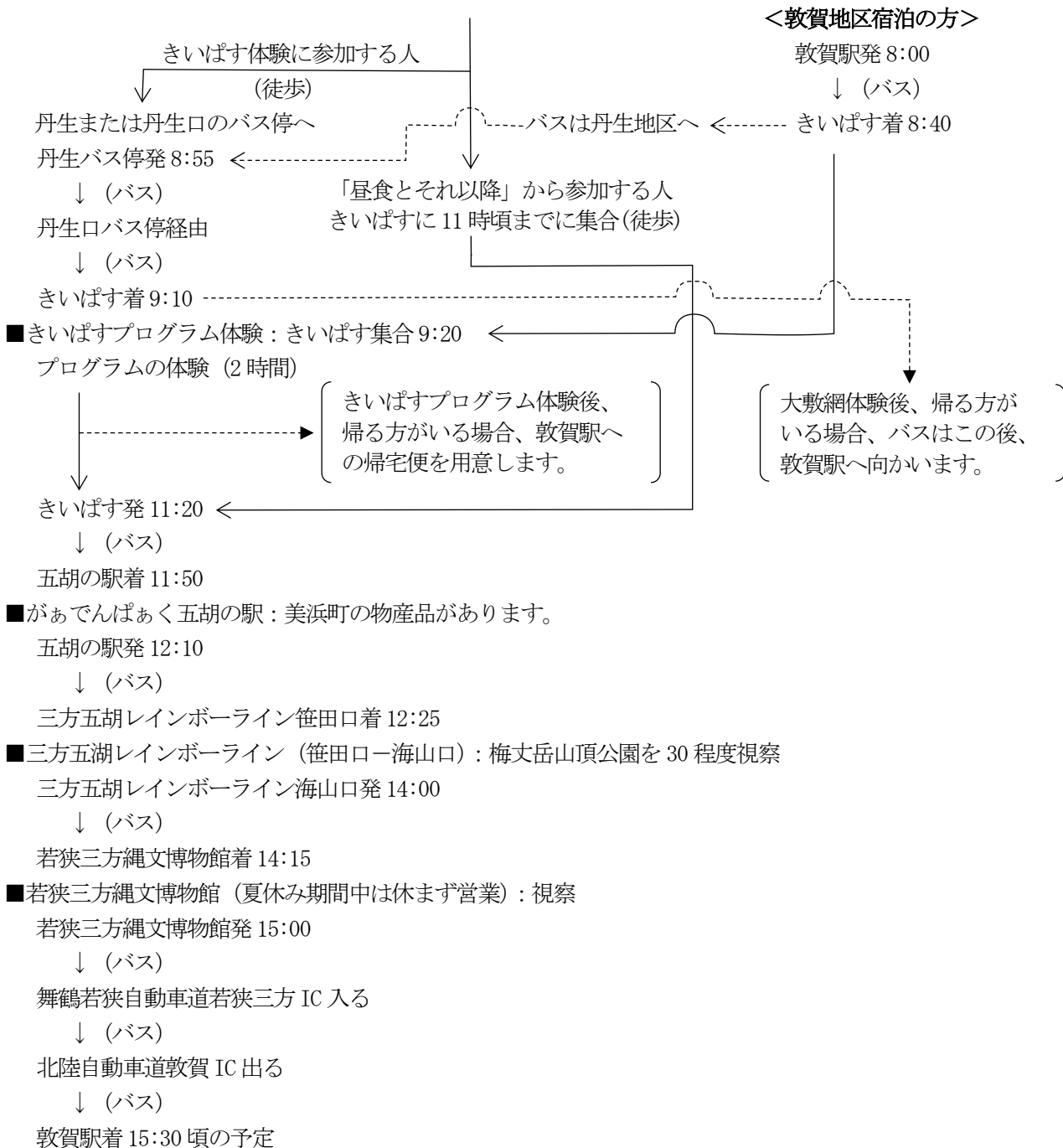
- ・若狭美浜はあとふる体験（早朝の大敷網）を選択されない方：

丹生地区だけでなく、敦賀市内で宿泊されても参加可能です。8月21日の朝、2番目の体験であるきいばすプログラムに間に合うように、敦賀駅からきいばす行きのバスを用意いたします。

行程 (予定)

<丹生地区宿泊で、はあとふる体験に参加の方>

- 大敷網体験(約2時間) : 04:00 丹生公会堂集合(徒歩) 4:30頃までには丹生港出港 => 大敷網体験 => 丹生港帰着 (6:00~7:00) = (徒歩) => 宿泊先(朝食)



申し込み方法

大会参加の申し込み時に、ホームページからお申し込みください。
 分割申し込みが可能です。申し込み時、体験見学先を必ず選定してください。参加のパターンは次の中から選んでください。なお、「昼食とそれ以降」のみの参加はできません。

	体験見学先	大敷網 体験	きいばす 体験	昼食と それ以降	備考
参加 パターン	① 全部参加	○	○	○	丹生地区に宿泊要、参加費 800 円
	② 大敷網ときいばす	○	○	×	丹生地区に宿泊要、参加無料 きいばす体験後敦賀便に乗車要
	③ 大敷網と昼以降	○	×	○	丹生地区に宿泊要、参加費 800 円 宿泊先からきいばすまでは徒歩
	④ 大敷網のみ	○	×	×	丹生地区に宿泊要、参加無料 体験後は丹生からきいばす経由で 敦賀に向かうバスに乗車要
	⑤ きいばすと昼以降	×	○	○	敦賀市内宿泊でも参加可能 参加費 800 円
	⑥ きいばすのみ	×	○	×	敦賀市内宿泊でも参加可能 参加無料 きいばす体験後敦賀便に乗車要

体験見学の概要、注意事項

早朝の大敷網体験 <http://www.heartful-mihama.com/>

大敷網漁の漁船に乗り、漁師と一緒に網を引く漁業体験。

1 回の体験時間：2 時間

用意するもの・服装：動きやすく汚れてもいい服装、タオル・エプロン

きいばすプログラム体験 <http://www.mihama-eee.jp/>

中学 1 年生用プログラム「エネルギーの形態」を予定
 (変更する場合があります)

1 回の体験時間：1.5 時間

用意するもの・筆記用具

三方五湖レインボーライン <http://www.mikatagoko.com/>

全長 11.24km の有料道路。途中の梅丈岳の山頂公園からラムサール
 条約に登録された三方五湖が一望できる。

若狭三方縄文博物館 <https://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/jomon/>

若狭町の鳥浜貝塚の出土遺物や水月湖年縞を展示紹介する施設。
 年縞には過去の気候変動や植生変化などに関わる重要な情報が含
 まれており、若狭三方縄文博物館にはその実物が展示されている。



<移動ルート図>



<大敷網集合場所>

